

税務大学校和光校舎における施設管理・運営業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

業 務 内 容：「税務大学校和光校舎」における施設管理・運営業務（包括的管理業務
点検及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、図書室管理業務）

契 約 期 間：平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

2. 実施状況に関する評価

（1）快適性の確保

施設利用者アンケート調査について、「不満度 20%未満」を目標として設定したところ、各年度とも不満足度が 2%以下であり、目標を十分に達成していると評価できる。

（2）品質の維持

管理・運営業務の不備に起因する研修の中断回数、空調の停止・停電・断水の発生回数ともに 0 回であり、適正な維持管理が行われていると評価できる。

（3）安全性の確保

管理・運営業務の不備に起因する施設利用者の怪我の発生回数は 0 回であり、適正な管理により安全性の確保が行われていると評価できる。

（4）業務水準の確保

各業務（包括的管理業務、点検及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、図書室管理業務）とも確保すべき水準に対し、確実に業務が実施されていると評価できる。

（5）受託事業者からの改善提案による改善実施事項

受託事業者からの提案により、省エネルギー化（電力デマンド制御プログラム導入、照明の人感センサー化）及び清掃作業の効率化（研修生の人数に応じた清掃場所の変更）がなされていると評価できる。

3. 実施経費に関する評価

平成24～26年度の契約額は約470,157千円であり、1年間当たり約156,719千円となる
ところ、従来の実施経費（平成19年度）約221,259千円に比べ約64,540千円（△約29.2%）
の経費削減となる。

4. 今後の事業について

民間競争入札の導入により、業務の質の確保及び実施経費の削減がなされていること
から、良好な実施状況となっている。また、今後も税務大学校と民間事業者の連携のも
と、適切に事業が実施されることが期待される。このことから、次期においては「市場
化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針（平成26年3月19日官民競争
入札等監理委員会）」Ⅲ. 1. の基準に基づき、新プロセスに移行した上で、事業を実施
することが適当である。

なお、次期事業にあつては、これまで以上の業務の効率化と一層の民間事業者の参入
促進を目指して、平成25年11月に税務大学校和光校舎敷地内に移転した関東信越研修
所を管理・運営の業務内容を含めるとともに、業務委託期間を3年間から5年間に延長
し改善を図ることにより、更なる成果が得られるものと考えられる。

以上